

### 3. 結果及び議事録

広報の結果、54名の参加者が集まりました。なお、任意参加の交流会には、このうちの36名が参加されました。

#### (1) 議事概要

##### ■ イベントプログラム

17:00	1.開会
17:05	2.九州自然歩道について
17:10	3.基調講演『“アパラチアン・トレイル”に学ぶ九州自然歩道再生へのいざない』
18:10	4.事例発表『自然歩道の活用先進事例～信越トレイルの取組み～』
19:00	5.意見交換会
19:40	6.閉会～今後の展開について～ 交流会<任意参加>
20:00	1.参加者自己紹介
20:20	2.交流会
21:00	3.閉会



イベントプログラム



名札の書き方説明

#### 1) 開会 (17:00～)



九州地方環境事務所星野所長より開会の挨拶を行いました。



満員の会場

2)九州自然歩道について (17:05～)



九州地方環境事務所似田貝自然保護官より九州自然歩道の事業概要(目的, 今後の事業展開等)について説明しました。

3) 基調講演『“アパラチアン・トレイル” に学ぶ九州自然歩道再生へのいざない』(17:10～)

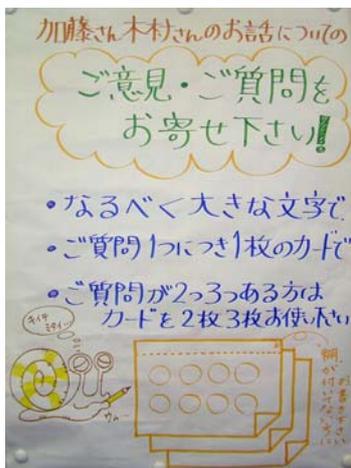


加藤則芳氏より『アパラチアン・トレイル』を例に九州自然歩道の再生方法等について講演されました。

4) 事例発表『自然歩道の活用先進事例～信越トレイルの取組み～』(18:10～)



木村宏氏より『信越トレイル』の設立の経緯、管理運営の現状、今後の展望等について発表されました。



基調講演及び事例発表を聞きながら、参加者は意見・質問事項を1件につき1枚のカードに記録を行いました。

5) 意見交換会 (19:00～)



講演・発表内容の振返りを行い、参加者から出された質問・意見の概要を整理しながら説明を行いました。



質問・意見に基づき、講師の加藤則芳氏・木村宏が回答しながら、同時に会場全体で意見交換を行いました。

6) 閉会～今後の展開について～ (19:30～)

会議に参加した感想、今後の会議への参加意向等についての設問を設定したアンケート調査を参加者に配布し、今後の環境省の取組みをPRしながら、閉会の挨拶を行いました。

アンケート用紙

7) 交流会<任意参加> (20:00～)



夕食をとりながら、参加者全員で自己紹介を行って交流を深め、21:00に閉会しました。